



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.9 > BULLETIN 2024年7月～2025年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 村杉 一榮
会計 小仁 恵子
監査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みづき

国際会長 A・シヤナヴァスカーン 「太陽の輝きと笑顔」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長 山本 剛史郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

9月 振起日(9月1日)
だから、植える者も水を灌ぐ者も、ともに取るに足りない。大事なものは、成長させて下さる神のみである。(コリント人への手紙第1、3章7節)
*夏休みを終えて、心機一転、働こう。成長させて下さった神のために！

2024年9月例会

「9月の巻頭言によせて」
副会長 青木 方枝

日時:2024年9月18日(水) 18:00~20:00
場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター
★進行:小仁メン、 受付:佐野メン、
開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
卓話「みんなで楽しく、よい汗 流そうよ！
～会員増強～」
元東京 YMCA, 東京 YMCA 学院 堀江 和弘 様
各種報告 樋口 会長
YMCA 報告 柳原 主事
閉会点鐘 樋口 会長
★ご出席の方は、9月14日までに青木メンまで、

【例会出席率】 在籍:15名 8月出席率8/13 62%
出席:8月 (メン8名、メネット0名) 計8名
【ニコニコ】 ¥8,000

8月は、お盆が過ぎても猛暑が続き、台風が来たりで大変な夏でした。早く涼しい秋が来てほしいですネ。
さて、今月はEMC強化月間ということなので調べてみました。
Extension and Membership Conservation-
Eはクラブ拡張(新クラブ設立)、MCは会員の維持(啓発、退会防止)と増強(新会員獲得)の意とあります。
先月の納涼例会で新入会員をお迎えすることができうれしい限りでした。
でも、ご多分に漏れず我がクラブも高齢化が進み、気持ちは若くても、身体が思うように動かないというメンバーも出てきています。お互い助け合って出来ることをやり、退会者を出さないように頑張りましょう。
クラブ例会に出席しても一度も話す機会がない時もあります。例会でのニコニコの時、お弁当を食べながらメンバー全員一言話す、これによって皆さんとのコミュニケーションもでき、とても良いことと思います。これからもYMCAと一緒に楽しいクラブ活動をやっていきましょう！



◆ (8/21) 8月納涼例会報告



【写真】後列左から、目黒、金丸、村杉、小仁、青木各メン
前列左から、高谷、山本、新倉、柿沼、樋口各メン

日時：2024年8月21日(水) 17:00～20:30

場所：香港亭(両国) (司会進行：青木メン)

出席者：青木、柿沼、高谷、新倉、目黒、村杉、柳原、樋口各メン

ビジター：関東東部部長山本剛史郎氏、(公式訪問)

同会員増強主査金丸 満男氏

▲開会点鐘：南部鉄風鈴による「チーン♪」(樋口会長)

▲聖句お祈り：西澤メン急ぎょ交代となりましたが事無きを得ました。

▲当初、新入会員、新倉雅隆(にいくら まさたか)さんの入会式を先に行う予定でしたが、本人の来店が遅れたため予定を組み替え、納涼例会を先に進行しました。

▲関東東部部長山本剛史郎氏ご挨拶

川越クラブに入って26年になります。いままでワイズ活動を続けてきて、もうやめようと思うことが2度、3度、4度。

しかしクラブ活動だけだったのが、関東東部、東日本区・・・と出ていくようになり、多くの友達ができ、やめるにやめられない、というより楽しいことがどんどんふえています。

今日は入会式ということで駆けつけました。(新倉様には)ぜひ活動を通じて長く楽しんでください。(村杉 記)

▲新倉雅隆さん入会式の模様



【写真】左から、金丸、山本、両立会人、新倉メン、樋口メン

▲納涼例会の模様



【写真上】左から、目黒、柳原、小仁、村杉、青木各メン



【写真上】左から柳原、小仁、目黒、村杉、青木、金丸、高谷各メン



【写真上】左から、青木、金丸、山本、新倉、樋口各メン



【写真上】左から目黒、高谷、柳原、小仁各メン

▲各種報告 当日配布資料に沿って説明

▲ハッピーバースデー：いらっやいませんでした

(樋口 記)

◆ (9/11) 2024年9月第2例会(役員会)

日時：2024年9月11日(水) 15:00～16:30 Zoom

1. 例会運営打合せ(9月、10月)
2. 神田川船の会関係ほか

(樋口 記)

◆ (9/14) 9月例会卓話のご案内

24年9月例会の卓話には、待望の元東京YMCAの堀江和弘様をお招きし、長年のご尽力でご経験された、会員増強成功事例などをお伺いします。わがクラブの会員増強や楽しいクラブ運営に勉強になればと思います。

日時：2024年9月14日(水)18:00~20:30

場所：東京YMCA 東陽町センター

講師：堀江 和弘 様

(元東京YMCA, 東京YMCA 学院)

卓 題:

「みんなで楽しく、よい汗流そうよ! ~会員増強~」

・幼稚園保護者と一緒に!

(江東ワイズを通じて)

・三者で子育て! 新しいコ

ミュニティーを創ろう!

(東京ベイサイドを通じて)



◆講師 プロフィール

【略歴】1957年4月生まれ、東京都出身

・1980年 東海大学体育学部社会体育学科卒業

・1980年 財団法人東京YMCA 入職

・武蔵野ブランチ、

・中央ブランチ、

・在日韓国YMCA(出向)

・東陽町ウェルネスセンター(所長)

・江東YMCA(主任主事)

・各種指導者養成事業

(キャンプ・スキー・スノーバダイビング等)

・1999年 学校法人東京YMCA 学院出向・移籍

・YMCA 幼稚園(園長)

・しののめYMCA こども園設立準備室(室長)

・幼保連携型認定こども園 しののめYMCA
こども園(園長)

◆今後の主なスケジュール

1) 9月11日(水) 9月第二例会(Z) 15:00~

2) 9月18日(水) 9月例会(東陽町) 18:00~

3) 9月28日(土) チャリティーラン(都立木場公園)

4) 10月9日(水) 10月第二例会(Z) 15:00~

5) 10月12日(土) 第90回神田川船の会

6) 10月17日(木) 10月例会(東陽町) 19:00~

7) 10月19日(土) 関東東部部大会(川越)

8) 11月13日(水) 11月第二例会(Z) 15:00~

9) 11月20日(水) 11月例会(東陽町) 18:00~

◆ (10/17) 10月例会の卓話予告

卓題 「渋谷栄一と東京の街づくり」

卓話者 渋谷史料館 館長 桑原 功一氏

「明治維新後、渋谷栄一は、新しい時代にふさわしい首都・東京の街づくりに関わっていきます。栄一がどんな活動をして、どのような東京にしようとしたのか、東京への思いをみていきます。」

24年10月例会は、東京江東クラブ、東京ひがしクラブさんと3クラブ合同例会とし、開催日時を下記といたしますので、お間違いのないようお願いいたします。

また、講師には、渋谷栄一研究の第一人者である、渋谷史料館 館長 桑原 功一 様をお招きしました。

このたびは、東京のインフラ整備、福祉、商業教育への支援のあり方、港湾整備への意見などを通して、渋谷栄一の東京の街づくりへの関わり方や東京への思いなどにつき、やさしくお話をさせていただきます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時：2024年10月17日(木)19:00~21:30

場所：東京YMCA 東陽町センター

講師：渋谷史料館 館長 桑原 功一 様

◆講師 プロフィール

【略歴】1969年5月生まれ、55才、東京都出身

明治大学大学院博士前期文学研究科史学専攻修了。

1995年足立区立郷土博物館専門員

2003年呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)学芸員

2008年より公益財団法人渋谷栄一記念財団渋谷史料館学芸員。同館副館長を経て、現在、同館館長。



◆同館で担当した展覧会は、企画展「渋谷倉庫株式会社と渋谷栄一~信ヲ万事ノ本ト為ス~」、企画展「私ヲ去リ、公ニ就ク~渋谷栄一と銀行業~」等。

◆著作に『渋谷栄一 日本近代の扉を開いた財界リーダー』(宮本又郎編、共著、PHP 研究所、2016年)等。

【趣味など】城跡、史跡めぐり、銭湯めぐり

(樋口 記)

24/25年度会費振込のおねがい

お世話様です。振込口座は下記をお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店#446(普)3064402

名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ



2024パリオリパラ開催にちなみ
オッフエンバックの「パリの喜び」



ジャック・オッフエンバック作曲(1819-1880)

マニュエル・ロザンタール編曲(1904-2003)

バレエ音楽「パリの喜び」(1938)

指揮:シャルル・ミュンシュ(1891-1968)

ニューフィルハーモニア管弦楽団(1966録音)

オッフエンバックはドイツのケルンに生まれ、パリで活躍(1860年に帰化)した作曲家です。「天国と地獄」のフレンチカンカンや「ホフマンの舟歌」など親しみやすいメロディーとリズムで人気があります。

オペレッタの父と言われ、音楽と喜劇との融合を果たした人です。彼の書いたオペレッタは102曲にもものほり、スッペやヨハン・シュトラウス2世にも影響を与えました。ロッシーニはオッフエンバックを“シャンゼリゼのモーツァルト”と評したと言われています。

バレエ音楽「パリの喜び」は、彼の死後1938年に、様々なオペレッタやオペラから名曲22曲を抜粋し、フランスの名指揮者で作曲家(ラベル最後の弟子)のロザンタールがバレエ用に編曲したものです。

場所は花の都パリのナイトクラブ。富豪ペルー人を中心にくりひろげられる喧噪をコミカルに描いたもので、内容はともかくハチャメチャに楽しい曲で、ストレスなしに軽い気持ちでお聴きください。

思い出のCDは、アルザス生まれのフランスの巨匠ミュンシュ最晩年の色彩豊かな演奏です。当時米デッカ開発の「フェイズ4ステレオ」という臨場感のある録音技術で一時話題を呼びました。

(樋口 記)

- 8月7～11日、「第15回キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAドラゴンキャンプ場で開催され、東京YMCAから11名の小学生が参加した。サッカーの試合やレクリエーション等を通じて、韓国をはじめアジア各国の子どもたちと交流した。
- 全国のYMCAが協力し、能登半島地震の子どもたちを対象とした2つの「リフレッシュキャンプ」が国立立山青少年自然の家を会場に実施された。今後11月2日～4日には東京YMCA主催により、国立能登青少年交流センターにて、被災した子供たちを対象としたキャンプを実施する予定。
- 東京YMCA野尻キャンプが所有する、約100年の歴史を有する貴重なヨット「オメガ」の修繕募金を開始した。船底防水加工作業の費用として、100万円を目標に9月末まで募金を受け付ける。オメガはグループの仲間と一緒に乗れる大きな船体のヨットで、キャンプに参加した子どもたちに親しまれている。
- 8月1日～9日、東陽町コミュニティーセンターで、「ヒロシマ・ナガサキ 原子爆弾の記録」パネル展が開催された。写真パネルや被爆者の声など、原子爆弾に関する貴重な資料の展示を通して、平和といのちの尊さを考える機会となった。
- 今後の主な行事予定
 - 「日韓YMCA連絡委員会」
9月8日～11日 会場:ソウル市内
 - 「2024 災害スタディ ～防災まち歩き」
9月14日 東陽町センター
(共催:社会福祉法人 江東区社会福祉協議会)
 - 「第38回国際ナショナル・チャリティーラン」
9月28日 (都立木場公園)
 - 「国際協力一斉街頭募金」
11月2日 新宿駅周辺

(クラブ担当主事:柳原 記)